



山崎泰昌議員

学校給食

完全給食実施年度は 平成25年度を目標に

質問 町では、早ければラ
ンチボックス制度を平成21
年度2学期から実施するとい
ってきしたが、困難である
と判断し、今後、完全給食
実施について調査・検討す
ると方向転換した。

マニフェストにもあり、
実施を期待していた人もい
るので、中止に対する説明
が必要では。

沼崎町長 アンケート調査
に協力した皆さんには、教
育委員会を通じて説明した
い。住民には、広報などを
通じて報告する。

質問 今後のスケジュール
を示すべきでは。
佐藤副町長 平成21、22年

度に建設場所、運営形態、
会計制度などの調査・検討
23、24年度に設計および建
設、25年度4月の実施を目
標に行いたい。

財政計画の見直しが必要
であり、平成23年度から始
まる第8次総合発展計画後
期計画に盛り込みたい。

質問 検討した結果、人数
が少なくて中止にするとい
うことはあるか。

佐藤副町長 平成25年度は、
1405人の児童・生徒数
を見込んでいたが、平成30
年度には、1100人程度
になる予想である。減少し
た分は福祉関係などへの活
用も検討していく。

水産振興

漁業者への支援策は 新たな補助制度を創設

質問 ある漁協の営漁計画
には、後継者または就業意
欲のある漁業者への支援協
力が必要と書いてある。町
は漁業者に対し、近代化資
金利子補給など既存の事業
以外に新たな支援策を検討

しているか。
沼崎町長 県の地域営漁計
画推進特別対策事業があり、
町としても上乘せ補助を行
う。また、1事業当たり10
万円を上限とした漁協、漁
業者グループに補助する制

度
を創設した。
質問 漁家の生活を守るた
めの漁協だと思いが、現状
は漁協を守ることので精一杯
な感じを受ける。今こそ行
政の力で漁家を支援すべき
だと思ふ。そのためにもア
ワビ事業などへの支援を拡
充しては。
内田水産振興主幹 漁協を
守るのが精一杯というのは
そのとおりであるが、地域
営漁計画をもとに頑張つて
いる。アワビについては、
これまでどおり調査には協
力するが、種苗放流は各漁
協で行ってもらいたい。

度
を創設した。
質問 漁家の生活を守るた
めの漁協だと思いが、現状
は漁協を守ることので精一杯
な感じを受ける。今こそ行
政の力で漁家を支援すべき
だと思ふ。そのためにもア
ワビ事業などへの支援を拡
充しては。
内田水産振興主幹 漁協を
守るのが精一杯というのは
そのとおりであるが、地域
営漁計画をもとに頑張つて
いる。アワビについては、
これまでどおり調査には協
力するが、種苗放流は各漁
協で行ってもらいたい。

議員9人が一般質問



アワビ選別作業の様子（大浦地区）